

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

#4
TWB
10-15-01



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 9月22日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-288251

出 願 人

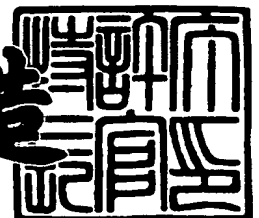
Applicant(s):

株式会社フォーバルラネッサンス

2000年11月10日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3093797

【書類名】 特許願

【整理番号】 FR2000-03

【提出日】 平成12年 9月22日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G07G 1/12
G06F 17/60
G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都渋谷区神宮前五丁目5番2号
株式会社フォーバルラネッサンス内

【氏名】 長谷川 隆

【発明者】

【住所又は居所】 東京都渋谷区神宮前五丁目5番2号
株式会社フォーバルラネッサンス内

【氏名】 田口 善彦

【特許出願人】

【識別番号】 500157756

【氏名又は名称】 株式会社フォーバルラネッサンス

【代理人】

【識別番号】 100064414

【弁理士】

【氏名又は名称】 磯野 道造

【電話番号】 03-5211-2488

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 015392

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1
【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 クーポン発行システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信手段を介してクーポンを所定の者に発行するクーポン発行システムであって、

前記クーポンを発行する旨を適用対象となる商品の案内と共に前記所定の者に通知するクーポン発行通知手段と、

前記通知に応答した応答者からの前記クーポンの発行要求を受け付けるクーポン発行要求受付手段と、

前記クーポンの価値が異なるようにして前記発行要求のあった応答者に発行するクーポン発行手段とを有すること、
を特徴とするクーポン発行システム。

【請求項 2】 前記クーポン発行通知手段は、前記所定の者を特定する発行候補リストに基づいて前記通知を行う構成を有すること、を特徴とする請求項 1 に記載のクーポン発行システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、クーポンを所定の者に発行するクーポン発行システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来より商品や役務の取り引きにおいてクーポン券 (coupon) が使われることがある。クーポン券は、割引券、優待券、景品引換券としての役割を有する。クーポン券としては、新聞や雑誌の折り込み広告に掲載されているものや、クーポンブックのような冊子状になっているものなどがある。これらクーポン券の利用者は、例えば、折り込み広告を店頭に持って行くことで、このクーポン券の対象となる商品などの割引サービスを受けることができる。

【0003】

また、電子情報として配布 (及び蓄積) され、プリンタで印刷などした後に利

用に供されるクーポンが知られている。例えば、特開平 1 1 - 3 4 6 3 5 2 号公報には、テレビなどの放送波を利用し、家庭のプリンタでクーポン（券）を印刷出力する「クーポン生成装置並びにサーバ装置並びに受信機」が開示されている。また、特開平 1 1 - 3 2 8 2 6 9 号公報には、電子的に発券されたクーポンを印刷して使用する場合でも、クーポンの偽造や改ざん、第三者によるクーポンの不正使用を検出することを可能とする「電子クーポンシステムおよび電子クーポン発券・検証方法」が開示されている。また、例えば、特開平 1 1 - 2 0 3 5 5 8 号公報には、クーポン券発行機により顧客の磁気カード（又はフラッシュメモリーカード）に所定のポイントを順次加算してその累計ポイントを記録し、累計ポイントが基準ポイントに達した場合にクーポン券発行機からクーポン券を発行し、かつ、累計ポイントから基準ポイント分を減算してその残高ポイントを磁気カードに記録する「クーポン券発行システム」が開示されている。

【 0 0 0 4 】

また、前記した紙ベースのクーポンを全く介さない電子化されたクーポン、つまり電子情報として発行・配布され電子情報として利用されるクーポンが知られている。例えば、特開平 1 1 - 1 6 0 5 3 号公報や米国特許第 5 3 8 0 9 9 1 号明細書などには IC カードを利用したクーポンが開示されている。特開平 1 1 - 1 6 0 5 3 号公報の「電子クーポンの利用方法及び利用システム」は、クーポンサービス提供者側のサーバ装置、クーポンサービス利用者側の端末装置、クーポン（電子クーポン）を格納する IC カードなどから構成され、商品・サービスを購入する際に適用可能なクーポンを自動的に選択し当該クーポンを利用するものである。併せて、次の商品・サービスの購入に備えて適切なクーポンを抽出し、クーポンサービス利用者に当該クーポンを提供するものである。

【 0 0 0 5 】

ところで、同一商品を購入することができるクーポンでも、クーポンの価値を異なるようにして発行するとクーポン利用者の興味を誘引することができる。例えば、米国特許第 5 3 8 0 9 9 1 号明細書の電子クーポンは、購買履歴を IC カードに記録しておき、その履歴に応じて割り引き率を変更する。また、2 0 0 0 年 7 月に公開された特許庁のホームページには、「ネット通販で買い物を行うと

（受動的に）20回に1回の割合で10倍クーポンが配布される」という技術が開示されている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、米国特許第5380991号明細書の電子クーポンは、過去の購買履歴に基づいて発行されるものである。このため、クーポンを動機付けとして新規の顧客を勧誘する場合を考えると、この電子クーポンは必ずしも新規の顧客勧誘には適してはいない。また、受動的に20回に1回の割合で10倍クーポンが当たるのも面白味がなく、かつ実際に商品などを買わなければ10倍クーポンの特典を受けることができないので、新規の顧客を吸引する効果が強いとはいえない。

【0007】

そこで、本発明は、顧客吸引力の強いクーポンを適切に発行することのできるクーポン発行システムを提供することを主たる課題とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決した本発明は、通信手段を介してクーポンを所定の者に発行するクーポン発行システムであって、前記クーポンを発行する旨を適用対象となる商品の案内と共に前記所定の者に通知するクーポン発行通知手段と、前記通知に応答した応答者からの前記クーポンの発行要求を受け付けるクーポン発行要求受付手段と、前記クーポンの価値が異なるようにして前記発行要求のあった応答者に発行するクーポン発行手段とを有するものである。

【0009】

この構成においては、クーポンを発行する旨の通知に応答してクーポンの発行要求を行った所定の者（応答者）にクーポンを発行する。発行に際してはクーポンの価値が異なるものとされ、結果として、価値の高いクーポンが発行される応答者と価値の低いクーポンが発行される応答者が生じることになり、もって応答者の興味を誘引することができる。なお、商品の案内がクーポン発行通知になされる関係上、クーポンの発行要求を行う応答者は、クーポンをより欲する者（ク

ーポンを使用して対象となる商品を購入しようとする可能性の高い者)である。したがって、クーポン発行者は適切にクーポンを発行することができることになる。ちなみに、商品の案内は、「定価 1 2 0 円の缶コーヒ」とか「○△コンビニの弁当 (4 0 0 円以上)」などのように簡単な案内でも、商品の仕様がなどが詳細に記載された案内でもよい。つまり、所定の者に、何がクーポンの対象になっているのかの判別がつけばよい。

また、本発明において、応答者となり得る所定の者 (つまりクーポン発行通知がなされる所定の者) は、実際に商品を購入した者 (購入した場合) に限定されるものではない。この点、実際に商品などを購入した者 (購入した場合) にしか特典を受けることができない従来技術とは異なる。なお、実際にクーポンを発行する段では、過去の購入履歴に基づいて、購入履歴が多い応答者ほど価値の高いクーポンが発行され易くなる構成としてもよい。

【 0 0 1 0 】

また、請求項 2 に記載の発明は、前記クーポン発行通知手段が、前記所定の者を特定する発行候補リストに基づいて前記通知を行う構成を有するものである。

【 0 0 1 1 】

この構成によれば、クーポンを発行する者が、より購買意欲の高い者に狙いを絞ってクーポン発行通知を行うことが可能になる。ちなみに、特定の者の趣味、嗜好、年齢、家族構成、年収などを参酌して発行候補リストを作成し、これに基づいてクーポン発行通知を行う構成とするのが、通知に無駄を生じず好ましい。また、新規顧客を開拓しようとするれば、購入履歴のない者に限定した発行候補リストを作成するのが好ましい。

【 0 0 1 2 】

なお、後述する発明の実施の形態における第 1 実施形態では、「クーポン発行通知」は、クーポン発行システムがインターネット上に開設するホームページ (このホームページにリンク設定された画面) によりなされる。この際の「所定の者」は、このホームページを閲覧した者である。第 2 実施形態では、「クーポン発行通知」は、クーポン発行システムが発行候補リストに基づいて発信する e メールによりなされる。この際の「所定の者」は、発行候補リストに記述された者

である。また、「クーポン発行手段」は、発明の実施の形態のように、クーポンの価値を異なるようにしてどの応募者にどの価値のクーポンを発行するかを決定し（発行先リストの作成）、その後の実際の発行を特定の手段・手法に限定しないクーポン発行手段という場合も含んで意味する。また、「クーポンの価値が異なるようにして発行要求のあった応募者に発行」とは、どの価値のクーポンが発行されるのかを応募者に秘匿して発行要求のあった発行者に発行するということである（例えば抽選により発行するのが公平の観点から好ましい）。

【 0 0 1 3 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明のクーポン発行システムの実施形態を、図面を参照して詳細に説明する。

【 0 0 1 4 】

《第 1 実施形態》

先ず、第 1 実施形態のクーポン発行システムを説明する。

第 1 実施形態のクーポン発行システムは、クーポン発行者がインターネット上にホームページを開設し、このホームページにクーポンを発行する旨を通知すると共に（受動的な通知）、このホームページを閲覧して通知に応答した応募者（所定の者）からの発行要求を受け付け、いわゆるスピードくじの要領で抽選して応募者に価値の異なるクーポンを個別に発行するものである。

ここで、図 1 は、第 1 実施形態のクーポン発行システムの全体構成を示すブロック図である。

【 0 0 1 5 】

〔第 1 実施形態の構成〕

クーポン発行システム 1 を説明する。

図 1 に示すように、クーポン発行サーバ S V 1 は、主制御装置 S V a、記憶装置 S V b、入出力装置 S V c 及び通信制御装置 S V d などがバス（Bass） S V e に接続される構成を有する。

【 0 0 1 6 】

主制御装置 S V a は、M P U（Micro Processing Unit）及び R A M（Random

Access Memory) などから構成され、クーポン発行サーバ S V 1 を統括的に制御している。主制御装置 S V a には、WWWサーバプログラム、クーポン発行要求受付手段、クーポン発行手段などが起動している。

【 0 0 1 7 】

記憶装置 S V b は、ハードディスク装置や光磁気ディスク装置などから構成されている。記憶装置 S V b は、発行条件設定ファイル、発行先リスト、ホームページデータなどを格納している。

【 0 0 1 8 】

入出力装置 S V c には、キーボード、マウスや表示装置などが、I/O装置を介して接続されている。また、通信制御装置 S V d は、T A (Terminal Adapter) などから構成され、インターネットによる情報の送受信を実現する。

【 0 0 1 9 】

主制御装置 S V a に起動している各種プログラムを説明する。

WWWサーバプログラムは、H T T P (Hyper Text Transfer Protocol) によりインターネット上のサーバやクライアント (情報端末 T) に種々の情報を提供したり、種々の情報を取得したりする基盤プログラムである。

【 0 0 2 0 】

クーポン発行要求受付手段は、クーポン発行の通知に応答する応答者の情報端末 T から発信されるクーポン発行要求を受け付けるプログラムである。クーポン発行手段は、(1) 発行条件設定ファイルに基づいて発行するクーポンの価値を異なるようにする機能、(2) 応答者の発行要求に基づいて応答者にクーポンを割り振って発行先リスト (図 2 (b) 参照) を作成する機能、及び (3) 発行先リストを出力して発行者にクーポンの発行を促す機能、を有するプログラムである。ちなみに本実施形態では、クーポン発行者は、この発行先リストに基づいて予め作成してある紙ベースのクーポンを、郵送により発行する。

【 0 0 2 1 】

記憶装置 S V b が格納しているファイルを、図 2 を参照して説明する (適宜図 1 を参照)。

ここで、図 2 は、第 1 実施形態で使用されるファイル類の論理構成図であり、

(a) は発行条件設定ファイルを、(b) は発行先リストを示す。

【 0 0 2 2 】

図 2 (a) に示すように発行条件設定ファイルは、発行枚数、内訳、受付期間の項目を有する。発行枚数はクーポンを発行する枚数の総枠を規定するものである。内訳は、どのような特典のクーポンをどれだけ発行するかを規定するものである。この図 2 (a) では、発行枚数 1 0 0 枚のうち、最高特典の 2 5 % 引きを 7 0 枚、2 0 % 引きを 2 0 枚、そして 1 0 % 引きを 1 0 枚設定している。つまり、クーポンの価値を異なるようにしている。

ちなみに、この発行条件設定ファイルは、クーポン発行者の販売戦略などに基づいて策定される。

【 0 0 2 3 】

図 2 (b) に示すように発行先リストは、発行 N o、発行先、住所、電話番号、e メールアドレス、クーポン内容の項目 (フィールド) を有する。この項目は必要に応じて増減することができる。このうち発行 N o は 1 ~ 1 0 0 までである。つまり、発行条件設定ファイルの発行枚数 (1 0 0 枚) 分だけ発行 N o がある。

この発行先リストに基づいて、クーポンが発行される。

【 0 0 2 4 】

ホームページデータは、インターネット上のホームページによりクーポンの発行を実現するために必要となる種々のデータ類である。ホームページデータは、HTML (Hyper Text Markup Language) 形式などにより作成されている。

【 0 0 2 5 】

クーポン発行システム 1 がインターネット上に開設するホームページを、図 3 を参照して説明する (適宜図 1 及び図 2 を参照)。

ここで、図 3 の、(a) はクーポン抽選画面の構成例を示す図であり、(b) はクーポン発行確認画面の構成例を示す図である。

【 0 0 2 6 】

図 3 (a) に示す抽選画面は、図示しないホームページにリンク設定された画面である。この抽選画面は、クーポンを発行する旨を適用対象となる商品の案内と共に通知する役割 (クーポン発行通知手段としての役割)、及びクーポンの発

行要求を受け付ける役割を有する。同時に、抽選によりクーポンの価値が異なるようにし、クーポンを発行要求のあった応募者に振り分ける役割も有する。ちなみに、抽選画面の見出し部分が、クーポンを発行する旨を適用対象となる商品の案内と共に通知するクーポン発行通知に該当する。

抽選表は、図 2（a）の発行条件設定ファイルに基づいて、10%引き～25%引きの100枚のクーポンがそれぞれ各数字にランダムに割り当てられている。そして、応募者が抽選表の各数字をマウスクリックすると、マウスクリックした数字に対応する数字選定信号がクーポン発行サーバSV1に送信され、その数字に割り当てられたクーポンがマウスクリックをした応募者に発行されるようになる（クーポンの発行要求）。なお、一度マウスクリックされた数字は画面上から消えるようにデータが更新され、以後どの情報端末Tの画面上にも該数字は表示されないようになる。このため、再び同じ数字がマウスクリックされることはない。また、同じ情報端末Tからの再度の抽選（発行要求）を防止するため、クッキーによる端末認証手段を用い、一度抽選に供された情報端末Tには再度同じクーポン抽選画面が表示されないようになっている。

ちなみに、抽選表の作成は、発行条件設定ファイルに基づいてクーポン発行手段が行う。

【0027】

図 3（b）に示す発行確認画面は、クーポン抽選画面にリンク設定された画面であり、抽選を行った応募者に抽選の結果を知らせると共に、クーポンの発行を確実にするためのデータフォーム、決定ボタン及び取消ボタンを有している。

データフォームには、抽選を行った応募者の氏名、住所、電話番号、eメールアドレスを記入するようになっている。また、決定ボタンはデータフォームをクーポン発行サーバSV1に送信するボタンである。取消ボタンは、クーポン発行を取り止めるときに使用するボタンである。このボタンがマウスクリックされると、前記した抽選表の数字をマウスクリックすることにより送信された数字選定信号がキャンセルされ、再び当該マウスクリックに係る数字が表示されるようになる。ただし、前記したクッキーにより、同じ情報端末Tからは再度同じ抽選画面が表示されないようになっている。高い割引引き率のクーポンを得ようとして

、同一人が抽選表の数字と取消ボタンを何度もマウスクリックするのを防止するためである。

なお、送信したデータフォーム及び抽選表による抽選結果に基づいて、図 2 (b) の発行先リストが作成される。

【 0 0 2 8 】

ちなみに、応答者の情報端末 T は、通常のパーソナルコンピュータであり、W W W ブラウザプログラムがインストールされている。

【 0 0 2 9 】

〔第 1 実施形態の動作〕

次に、前記したクーポン発行システム 1 の動作を、図 4 及び図 5 を参照して説明する（適宜図 1 ～図 3 を参照）。

ここで、図 4 は、第 1 実施形態のクーポン発行システムの概略動作を説明するフローチャートである。図 5 は、第 1 実施形態のクーポン発行システムにおけるクーポン発行サーバと情報端末の動作を説明するシーケンスチャートである。

【 0 0 3 0 】

図 4 を参照してクーポン発行システム 1 の概略動作を説明する。

まず、クーポン発行システム 1 は、ステップ S 1 で、ホームページにクーポンを発行する旨を適用対象となる商品の案内と共に通知する（通知を掲載、〔新聞、雑誌、チラシなどで通知してもよい〕）。ステップ S 2 で、図 3 (a) に示す抽選画面（抽選表）及び図 3 (b) に示す発行確認画面により、応答者からの発行要求の受け付け及び抽選を行う（図 2 (b) に示す発行先リストの作成・更新も行う）。なお、抽選画面は、クーポン発行要求受付手段の他、クーポンを発行する旨を通知するクーポン発行通知手段を兼ねるものである。

【 0 0 3 1 】

ステップ S 3 で、図 2 (a) の発行条件設定ファイルに規定された発行枚数分の発行要求を受け付けたか否か、及び受付期間が満了したか否かを判断し、受付期間内に発行枚数分だけの発行要求を受け付けていない場合は、ステップ S 2 に戻り発行要求受け付け・抽選を継続する。発行枚数分だけの発行要求を受け付けた場合、あるいは受付期間が満了した場合は、ステップ S 4 で、発行先リストに

基づいてクーポンの発行を行う。

【 0 0 3 2 】

次に、図 5 を参照して、クーポン発行サーバ S V 1 と情報端末 T の動作を説明する。この動作は、図 4 のフローチャートにおけるステップ S 2 の部分に該当するものである。

まず、応答者がクーポン発行システム 1 のホームページにアクセスするため、ホームページ表示要求を行う (S 1 1) 。クーポン発行サーバ S V 1 は、この要求に応じてホームページデータを情報端末 T に送信する (S 1 2) 。これにより、情報端末 T にホームページが表示される。応答者は、図 3 (a) に示す抽選画面を表示すべく、ホームページに貼りつけられた抽選画面の表示ボタン (図示外) をマウスクリックする。これにより、抽選画面表示要求が送信される (S 1 4) 。クーポン発行サーバ S V 1 は、この要求に応じて抽選画面データを情報端末 T に送信する (S 1 5) 。

【 0 0 3 3 】

ステップ S 1 6 で、情報端末 T に抽選画面が表示されると、応答者は抽選表に表示されている数字のいずれか一つをマウスクリックする。すると、クーポンの発行要求として、数字選定信号がクーポン発行サーバ S V 1 に送信される。クーポン発行サーバ S V 1 は、この信号を受けて応答者にマウスクリックした数字に割り当てられたクーポンを振り分けると共に、当該マウスクリックされた数字を抽選表から削除すべくデータを更新する (S 1 8) 。そして、図 3 (b) に示す発行確認画面を情報端末 T に表示すべく、発行確認画面データを情報端末 T に送信する (S 1 9) 。

【 0 0 3 4 】

ステップ S 2 0 で、情報端末 T に発行確認画面が表示されると、応答者はデータフォームに必要事項を記載して送信ボタンをマウスクリックする。すると、クーポン OK 情報としてデータフォームがクーポン発行サーバ S V 1 に送信される (S 2 1) 。これを受けて、クーポン発行サーバ S V 1 は、図 2 (b) に示す発行先リストを更新する (S 2 2) 。そして、クーポンは、発行先リストに基づいて発行される (クーポン発行者が発行先リストに基づいて予め作成してある紙ベ

ースの所定のクーポンを郵送により発行する)。

【 0 0 3 5 】

第 1 実施形態では、このようにしてクーポンの発行が行われる。なお、第 1 実施形態では、割引引き率の高いクーポンを多く発行することとしつつ、どの割引引き率のクーポンが何枚あるのかの詳細は伏せ、もって高い割引引き率のクーポンを引き当てた多くの応募者により満足感を与えるようにしている。また、クーポンの発行を受ける者の操作によりクーポンの特典(価値)が決定されるので、ゲーム感覚的な楽しみを得ることができ、運試しにもなる。

ちなみに、第 1 実施形態でのクーポンは、電子的に発行されるクーポンであるか、紙に印刷されたクーポンであるかの別は問わない。また、クーポンの発行態様及び使用態様についても、その態様を問わない。例えば、本願出願人による特願 2 0 0 0 - 2 6 9 9 6 2 号「電子クーポン取引システム及び電子クーポン利用支援システム」の明細書に記載されているような電子的手段を用いてクーポンを発行し、電子的手段によりクーポンを使用する態様でもよい。

【 0 0 3 6 】

《第 2 実施形態》

次に、第 2 実施形態のクーポン発行システムを説明する。

第 2 実施形態のクーポン発行システムは、クーポン発行者がインターネット上にホームページを開設すると共に、別途作成した発行候補リストに基づいて所定の者にクーポンを発行する旨を e メールで通知し(積極的な通知)、この通知に応答した応募者からの発行要求を受け付け、いわゆるスピードくじの要領で抽選して応募者に価値の異なるクーポンを個別に発行するものである。

なお、第 1 実施形態と共通する要素などについては、第 1 実施形態と同一の符号を付してその説明を省略する。

ここで、図 6 は、第 2 実施形態のクーポン発行システムの全体構成を示すブロック図である。図 7 は、第 2 実施形態で使用されるファイル類の論理構成図であり、(a) は発行条件設定ファイルを、(b) は発行候補リストを、(c) は発行先リストを示す。図 8 の、(a) はクーポン抽選画面の構成例を示す図であり、(b) はクーポン発行確認画面の構成例を示す図である。

【 0 0 3 7 】

〔第 2 実施形態の構成〕

クーポン発行システム 2 を説明する。

図 6 に示すように、クーポン発行サーバ S V 2 は、第 1 実施形態におけるクーポン発行サーバ S V 1 と同様に、主制御装置 S V a、記憶装置 S V b、入出力装置 S V c 及び通信制御装置 S V d などがバス（Bass） S V e に接続される構成を有する。

【 0 0 3 8 】

第 2 実施形態では、主制御装置 S V a には、クーポンを発行する旨の通知を e メールとして送付するクーポン発行通知手段、及び応答者に対して認証を行う認証手段が起動している。また、記憶装置 S V b には、eメールの送付先である発行候補リストが格納されている。

【 0 0 3 9 】

図 7（a）の発行条件設定ファイルは外れが設定されている。この点第 1 実施形態と異なる。また、図 7（b）の発行候補リストには、発行条件設定ファイルの発行枚数と同数の発行候補者の氏名などが e メールアドレスや I D & パスワードと共に記載されている。この発行候補リストは、発行候補者の年齢、性別、趣味、家族構成、年収などを反映させて作成するのが好ましい。また、図 7（c）の発行先リストには、抽選の結果当選した発行候補者の氏名などがクーポン内容と共に記載されている。

【 0 0 4 0 】

クーポン発行通知は、クーポンの発行を受ける発行候補者に e メールとして送付される文書である。このクーポン発行通知には、クーポン発行システム 2 のホームページにアクセスし、クーポン発行通知に記された I D 及びパスワードを入力すると抽選でクーポンが当たる旨、及びクーポンの適用対象となる商品の案内（例えば◎△社製 D V D - R A M 定価 * * , * * * 円を最大 4 0 % O F F）が記載されている。

【 0 0 4 1 】

クーポン発行システム 2 もインターネット上にホームページを開設している。

図 8 (a) に示す抽選画面は、図示しないホームページにリンク設定された画面である。この抽選画面は、クーポンの発行要求を受け付ける役割を有する。同時に、クーポンの価値が異なるようにして発行要求のあった応募者に振り分ける役割も有する。

I D 入力欄及びパスワード入力欄は、e メールとして送付されたクーポン発行通知に記述された I D 及びパスワードを入力する欄である。応募者が、この欄に I D 及びパスワードを入力して送信ボタンをマウスクリックすると、図 7 (a) の発行条件設定ファイルに基づいて設定されたクーポンのいずれかがスピードくじ的に抽選され、応募者に当るようになっている。

ちなみに、抽選はクーポン発行手段が行う。

【 0 0 4 2 】

図 8 (b) に示す発行確認画面は、クーポン抽選画面にリンク設定された画面であり、抽選を行った応募者に抽選の結果を知らせると共に、クーポンの発行を確実にするための決定ボタン及び発行を取り消すための取消ボタンを有している。

この発行確認画面には、応募者が確認して住所などが相違したり変更したい場合に使用するデータフォームが準備されている。決定ボタン及び取消ボタンは応募者の意思を確認するボタンであり、これに基づいて最終的に発行先リストを作成するか否か（更新するか否か）が決定される。

【 0 0 4 3 】

〔第 2 実施形態の動作〕

次に、前記したクーポン発行システム 2 の動作を、図 9 及び図 1 0 を参照して説明する（適宜図 6 ～図 8 を参照）。

ここで、図 9 は、第 2 実施形態のクーポン発行システムの概略動作を説明するフローチャートである。図 1 0 は、第 2 実施形態のクーポン発行システムにおけるクーポン発行サーバと情報端末の動作を説明するシーケンスチャートである。

【 0 0 4 4 】

図 9 を参照してクーポン発行システム 1 の概略動作を説明する。

先ず、クーポン発行システム 1 は、ステップ S 5 1 で、e メールによりクーポ

ンを発行する旨を発行候補リストに基づいて通知する。ステップ S 5 2 で、図 8 (a) に示す抽選画面及び図 8 (b) に示す発行確認画面により、応募者からの発行要求の受け付け及び抽選を行う (図 7 (c) に示す発行先リストの作成・更新も行う)。

【 0 0 4 5 】

ステップ S 5 3 で、図 7 (a) の発行条件設定ファイルに規定された発行枚数分の発行要求を受け付けたか否か、及び受付期間が満了したか否かを判断し、受付期間内に発行枚数分だけの発行要求を受け付けていない場合は、ステップ S 5 2 に戻り発行要求受け付け・抽選を継続する。発行枚数分だけの発行要求を受け付けた場合、あるいは受付期間が満了した場合は、ステップ S 4 で、発行先リストに基づいてクーポンの発行を行う。

【 0 0 4 6 】

次に、図 1 0 を参照して、クーポン発行サーバ S V 2 と情報端末 T の動作を説明する。この動作は、図 9 のフローチャートにおけるステップ S 5 2 の部分に該当するものである。

まず、クーポン発行サーバ S V 2 が発行候補リスト (図 7 (b) 参照) に基づいて、該リストに記述された所定の者にクーポン発行通知を e メールにより送付する (S 6 1)。このクーポン発行通知には、クーポンの内容とクーポンの発行要求を行う際に必要となるユニークな I D 及びパスワード、そしてクーポン発行システム 2 のホームページの U R L (Uniform Resource Locator) が記載されている。

【 0 0 4 7 】

このクーポン発行通知を見た所定の者 (応募者) がクーポンの発行を受けようとする、情報端末 T に U R L を入力 (クーポン発行通知の U R L をマウスクリック) して、ホームページ表示要求を行う (S 6 2)。クーポン発行サーバ S V 2 は、この要求に応じてホームページデータを情報端末 T に送信する (S 6 3)。これにより、情報端末 T にホームページが表示される。応募者は、図 8 (a) に示す抽選画面を表示すべく、ホームページに貼りつけられた抽選画面の表示ボタン (図示外) をマウスクリックする。これにより、抽選画面表示要求が送信さ

れる（S 6 5）。クーポン発行サーバ S V 1 は、この要求に応じて抽選画面データを情報端末 T に送信する（S 6 6）。

【 0 0 4 8 】

ステップ S 6 7 で、情報端末 T に抽選画面が表示されると、応答者はクーポン発行通知に記載されていた I D 及びパスワードを、I D 入力欄及びパスワード入力欄に入力し送信ボタンをマウスクリックする。すると、クーポンの発行要求として、認証情報がクーポン発行サーバ S V 2 に送信される。クーポン発行サーバ S V 2 はこの認証情報を受けて認証を行い、認証されると乱数に基づく抽選機能により応答者に所定のクーポンを割り当てる。同時に、抽選データを更新して図 7（a）の発行条件設定ファイル通りにクーポンが発行されるようにする（S 6 9）。また、クーポン発行サーバ S V 2 は、図 8（b）に示す発行確認画面を情報端末 T に表示すべく、発行確認画面データを情報端末 T に送信する（S 7 0）。

【 0 0 4 9 】

ステップ S 7 1 で、情報端末 T に発行確認画面が表示されると、応答者は必要に応じてデータフォームの住所などの記載内容を変更して送信ボタンをマウスクリックする。すると、O K 情報がクーポン発行サーバ S V 2 に送信される（S 7 2）。これを受けて、クーポン発行サーバ S V 2 は、図 2（b）に示す発行先リストを更新する（S 7 3）。そして、クーポンは、発行先リストに基づいて第 1 実施形態と同様に発行される。

【 0 0 5 0 】

第 2 実施形態では、このようにして発行候補リストに基づいてクーポンの発行が行われる。このため、クーポンの発行者の営業戦略などを反映して好適にクーポンを発行することが可能になる。また、第 2 実施形態のように、極少数の外れを設定しつつ、外れの枚数の詳細を開示しないことで、当りを引き当てた多くの応答者の満足感を高めることができる（クーポンが使用される可能性が高くなる）。なお、特許請求の範囲における「クーポンの価値を異なるようにして発行要求のあった応答者に発行する」とは、第 2 実施形態のように外れを設定し、外れた場合にはクーポンを発行しないことを含んで意味するものであり、狭く解釈さ

れるものではない。

ちなみに、第2実施形態でのクーポンも第1実施形態と同様に、電子的であるか紙ベースであるかは問わない。また、その使用態様なども問わない。また、割り引き率の設定の手法も問わない。

【0051】

以上、本発明の好適な発明の実施の形態（第1実施形態及び第2実施形態）を詳細に説明したが、本発明は前記した実施形態に限定されることなく、広く変更実施することができる。

例えば、クーポンは、抽選を行うたびに逐次発行することとしてもよい。抽選の形式も、電子的なルーレットやその他ゲームなどを織り交ぜて、例えばゲームにおける得点の高い応答者に高い割り引き率のクーポンを発行するようしてもよい。つまり、応答者の運ばかりでなく、応答者のある種の技量などがクーポンの発行に反映されるようにしてもよい。また、クーポン発行通知から発行要求があるまでの期間が短い応答者に対して、高い割り引き率のクーポンが当り易くするようにし、応答者の購買意欲などがクーポンの発行に反映されるようにしてもよい。また、前記した実施形態では発行要求があるたびにスピードくじ的に抽選を行う構成としたが、発行要求が出揃った状態で一括して抽選を行う構成としてもよい。

【0052】

なお、前記実施形態などにおける各処理及び各作業は、適宜手作業に置き換えることができる。例えば、クーポン発行通知をダイレクトメールなどの郵送で行ってもよいし、街頭で配布されるチラシやティッシュペーパーなどにより行ってもよい。また、抽選を手作業で行ってもよい。

また、例えば通信端末Tは、インターネット接続機能を有する携帯電話やPDA (Personal Data Assistants) などでもよいのは、いうまでもない。むしろ、今後の携帯電話やPDAなどのモバイル系の情報端末Tの発達及び普及を考えると、本発明は、携帯電話などに好適に適用されるものである。

ちなみに、発明においてクーポンは、いわゆるポイントを含むものである。この場合、「価値の高い（割り引き率の高い）」は「ポイント数の多い」に該当し

、「価値の低い（割引率の低い）」は「ポイント数の少ない」に該当する。

【 0 0 5 3 】

【発明の効果】

以上、本発明のうち請求項 1 に記載の発明によれば、クーポン発行通知に応答した所定の者（応答者）にクーポンが発行される。当然、クーポンの対象となっている商品などに対する購買意欲の高い者が多く応答する。したがって、クーポンの発行が商品などの売り上げに多大に貢献することになる。また、クーポンの価値（割引率）を異なるようにして発行することで、応答者に着目され易くなる。また、価値の高いクーポンが発行された応答者により多くの満足感を与えることができる（クーポンが使用される可能性が高くなる）。しかも、価値の高いクーポンは始めて応答する者（購入履歴のない者）にも発行される。よって、本発明によれば、顧客吸引力（新規の顧客及び既に獲得している顧客の双方に対しての顧客吸引力）の強いクーポンを適切に発行することのできるクーポン発行システムとなる。

また、請求項 2 に記載の発明によれば、クーポンを発行する者が、より購買意欲の高い者に狙いを絞ってクーポン発行通知を行うことが可能となる。したがって、より適切にクーポンの発行を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 第 1 実施形態のクーポン発行システムの全体構成を示すブロック図である。

【図 2】 第 1 実施形態で使用されるファイル類の論理構成図であり、（a）は発行条件設定ファイルを、（b）は発行先リストを示す。

【図 3】 第 1 実施形態のクーポン発行システムが開設するホームページにリンク設定された、（a）はクーポン抽選画面の構成例を示す図であり、（b）はクーポン発行確認画面の構成例を示す図である。

【図 4】 第 1 実施形態のクーポン発行システムの概略動作を説明するフローチャートである。

【図 5】 第 1 実施形態のクーポン発行システムにおけるクーポン発行サーバと情報端末の動作を説明するシーケンスチャートである。

【図 6】 第 2 実施形態のクーポン発行システムの全体構成を示すブロック図である。

【図 7】 第 2 実施形態で使用するファイル類の論理構成図であり、（a）は発行条件設定ファイルを、（b）は発行候補リストを、（c）は発行先リストを示す。

【図 8】 第 2 実施形態のクーポン発行システムが開設するホームページにリンク設定された、（a）はクーポン抽選画面の構成例を示す図であり、（b）はクーポン発行確認画面の構成例を示す図である。

【図 9】 第 2 実施形態のクーポン発行システムの概略動作を説明するフローチャートである。

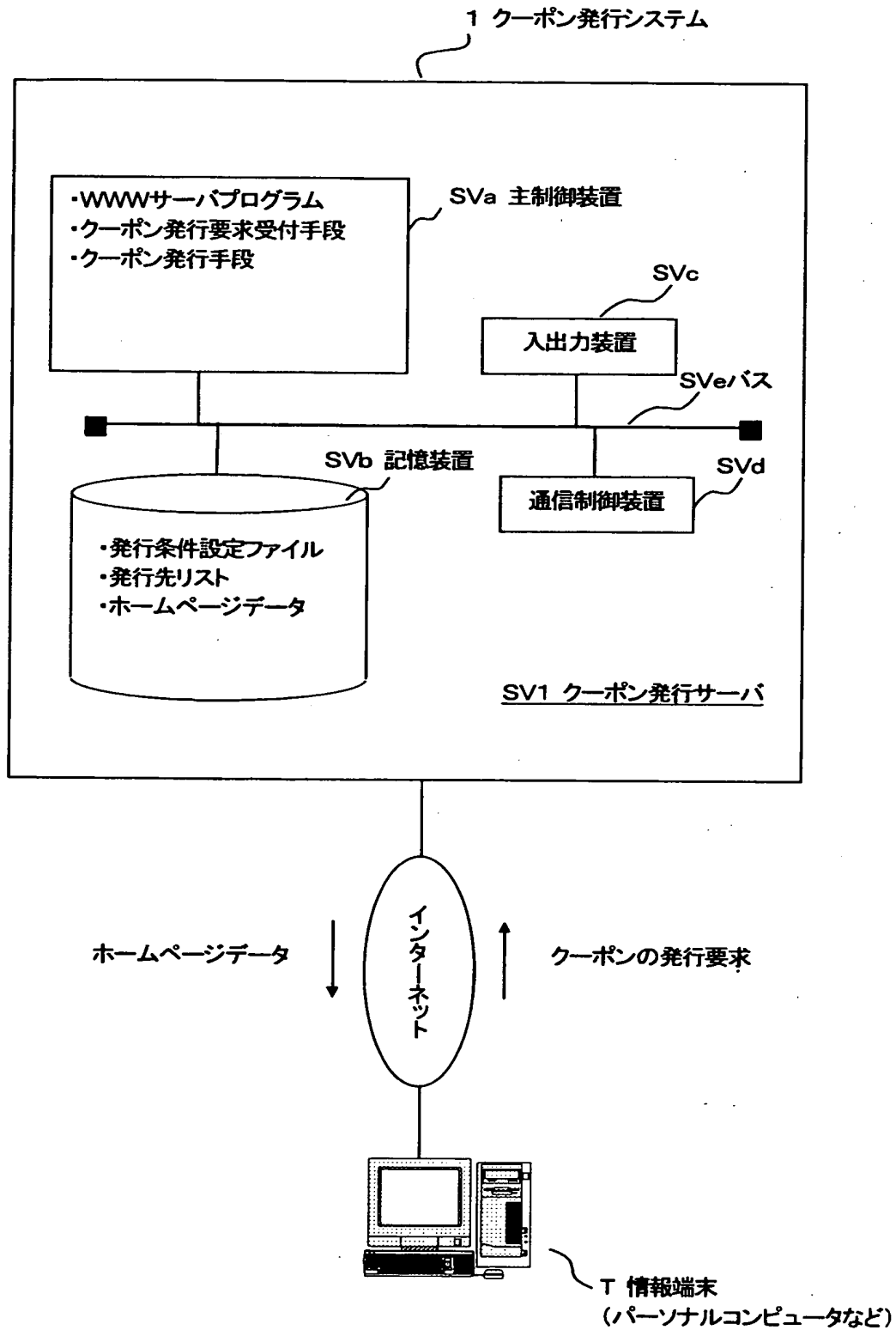
【図 1 0】 第 2 実施形態のクーポン発行システムにおけるクーポン発行サーバと情報端末の動作を説明するシーケンスチャートである。

【符号の説明】

- 1 … クーポン発行システム（第 1 実施形態）
- 2 … クーポン発行システム（第 2 実施形態）

【書類名】 図面

【図 1】



【図2】

(a) 発行条件設定ファイル

発行枚数	100枚
内訳	
25%引き	70枚
20%引き	20枚
10%引き	10枚
受付期間	00. 8. 1~00. 8. 15

(b) 発行先リスト

発行No	発行先	住所	電話番号	eメールアドレス	クーポン内容
1	Aさん	東京都千代田区..	03-5***-5555	**@**. ne. jp	25%引き
2	Bさん	東京都港区赤坂..	03-43**-**12	***@**. go. jp	20%引き
3	Cさん	横浜市緑区..	045-4**-**12	***@**. or. jp	10%引き
..
..
100	CVさん	東京都港区..	03-*3**-**12	**@**. co. jp	25%引き

【図 3】

(a) 抽選画面

人気カジュアルブランドの「***」の割引きクーポンが当たる！！

(抽選表)

	2	3			6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21		23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56		58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68		70
71		73		75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87		89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

好きな番号をクリックして下さい。
空白部分はクリック済みです。
特典内容は最低でも10%引きクーポンです。
運が良ければ25%引きクーポンが当たります。

(b) 発行確認画面

クーポンが当たりました！！

当たったのは25%引きクーポンです。
下のデータフォームに必要事項を記入し、送信ボタンをクリックして下さい。
クーポンが発行されます。
取消ボタンをクリックするとクーポンの発行は取り消されます。

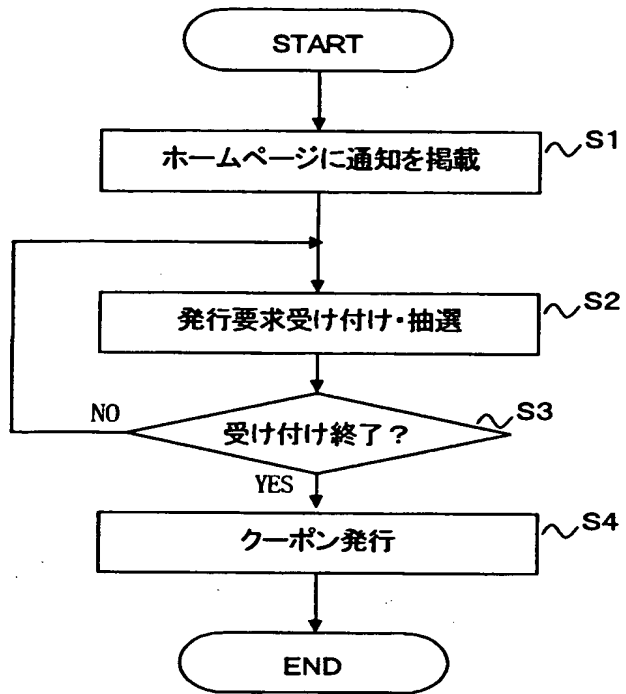
(データフォーム)

氏名	
住所	
電話番号	
eメールアドレス	

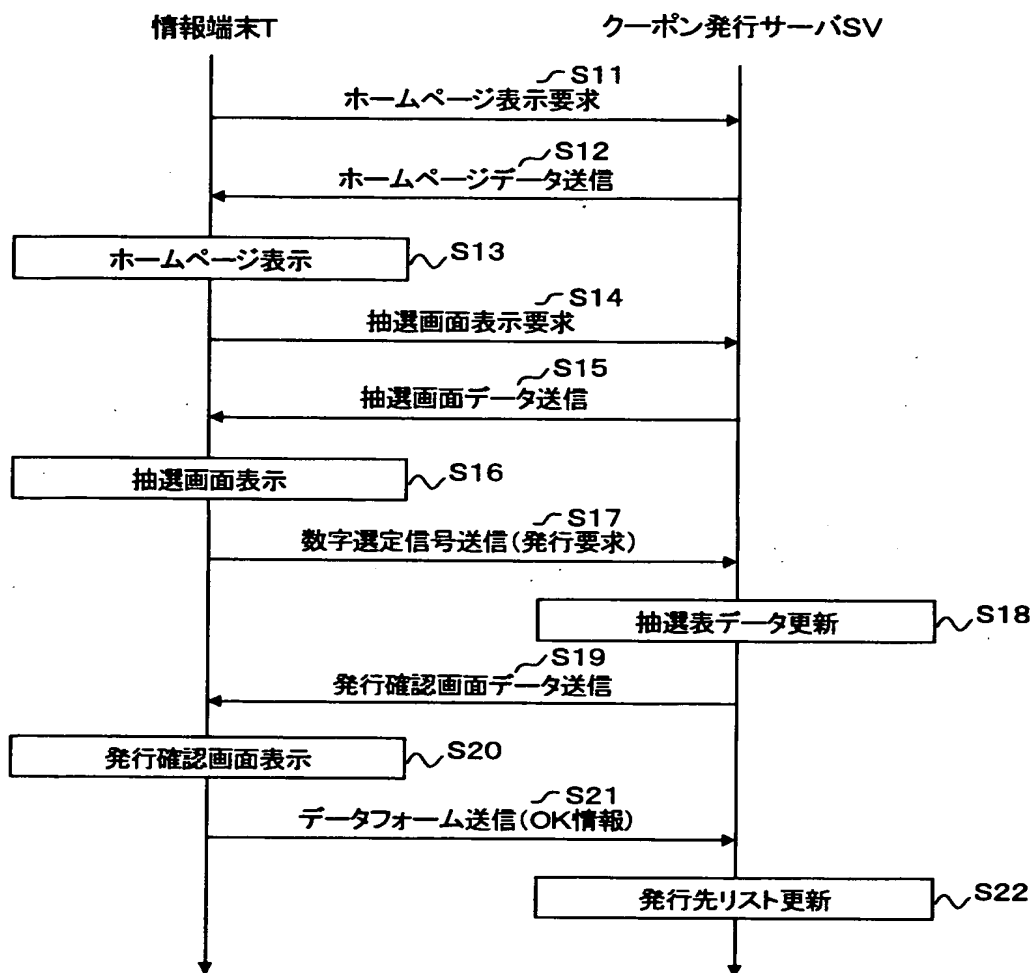
送信

取消

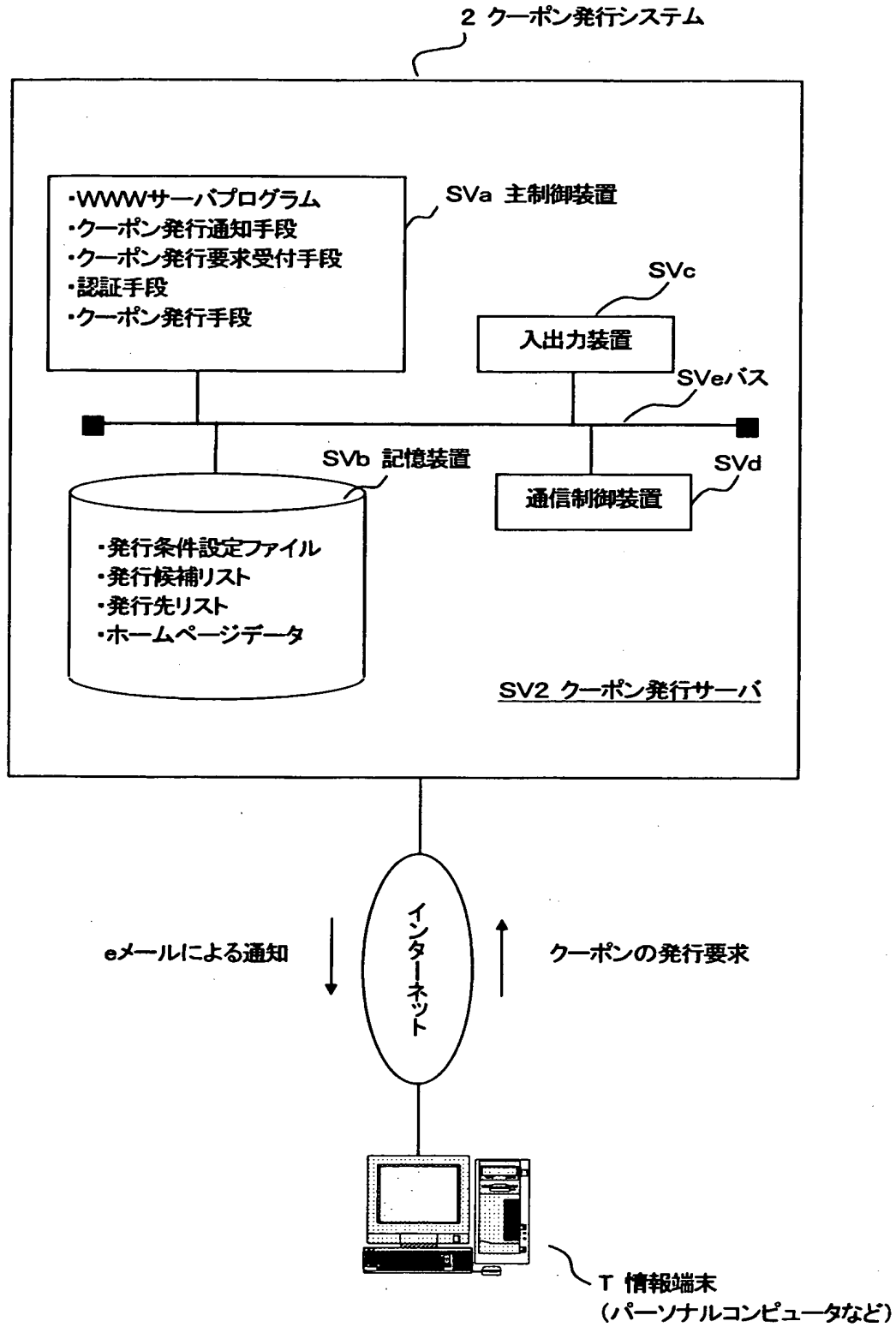
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

(a) 発行条件設定ファイル

発行枚数	100枚
内訳	
25%引き	80枚
20%引き	10枚
10%引き	5枚
外れ	5枚
受付期間	00. 8. 1~00. 8. 15

(b) 発行候補リスト

告知No	氏名	住所	電話番号	eメールアドレス	ID&パスワード
1	Aさん	東京都千代田区..	03-5***-5*55	**@**. ne. jp	Kfeooo、7856
2	Bさん	東京都港区赤坂..	03-43**-**12	***@**. go. jp	Qoekc、2567
3	Cさん	横浜市緑区..	045-4**-**12	***@**. or. jp	Iokkl、2488
..
..
100	CVさん	東京都世田谷区..	03-*3**-**85	**@*x*. co. jp	Eoeeo、1257

(c) 発行先リスト

発行No	発行先	住所	電話番号	eメールアドレス	クーポン内容
1	Aさん	東京都千代田区..	03-5***-5*55	**@**. ne. jp	10%引き
3	Cさん	横浜市緑区..	045-4**-**12	***@**. or. jp	20%引き
..
..
95	CQさん	東京都中央区..	03-*3**-**85	**@*x*. co. jp	25%引き

【図8】

抽選画面

人気カジュアルブランドの「***」の割引クーポンが当たる！！

ID;

パスワード;

送信

eメールで配布されたID及びパスワードを入力して下さい。
 クーポンが当たります。
 運が良ければ25%引きクーポンが当たります。
 外れることもあります。

(b) 発行確認画面

クーポンが当たりました！！

当たったのは25%引きクーポンです。
 送信ボタンをクリックして下さい。
 クーポンが発行されます。
 取消ボタンをクリックするとクーポンの発行は取り消されます。

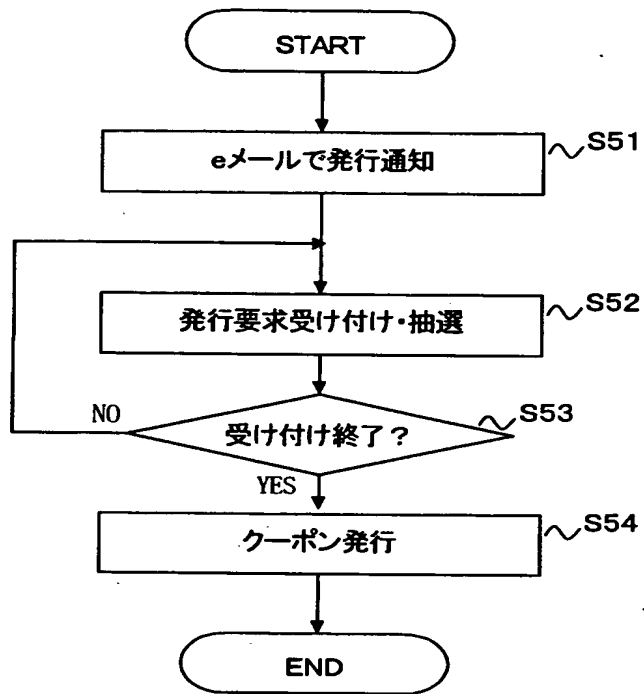
(クーポンは下記の住所にお送りします。変更がある場合は修正して下さい。)

氏名	****
住所	*****
電話番号	**-***-***
eメールアドレス	***@***

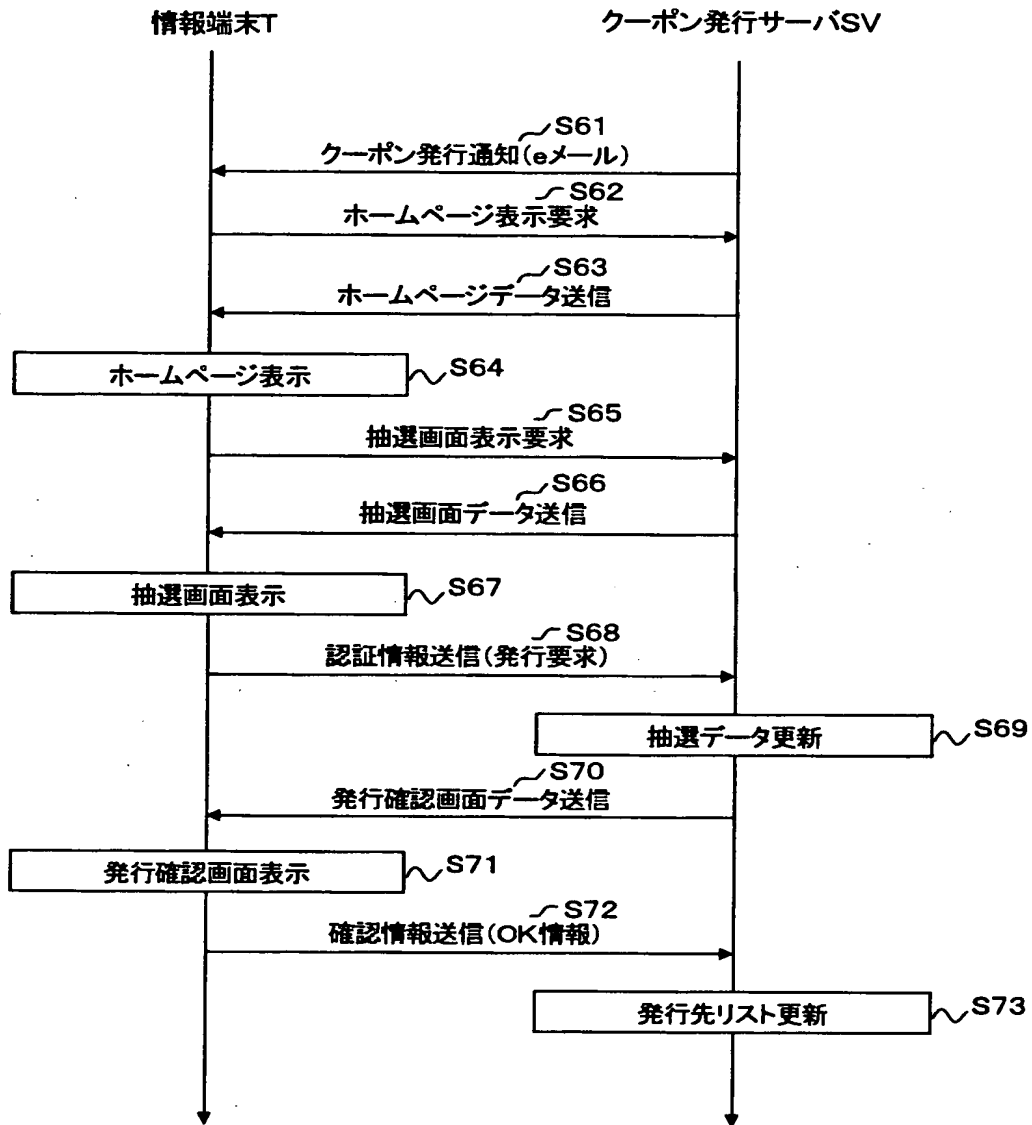
送信

取消

【図 9】



【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 顧客吸引力の強いクーポンを適切に発行することのできるクーポン発行システムを提供すること。

【解決手段】 インターネットを介してクーポンを所定の者に発行するクーポン発行システムであって、発行候補リストに基づいてクーポンを発行する旨を適用対象となる商品の案内と共に所定の者にeメールで通知するクーポン発行通知手段と、この通知に応答した応答者からのクーポンの発行要求を受け付けるクーポン発行要求受付手段と、クーポンの価値が異なるようにして発行要求のあった応答者に発行するクーポン発行手段とを有するクーポン発行システムとした。

【選択図】 図9

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500157756]

1. 変更年月日 2000年 4月 5日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
氏 名 株式会社フォーバルラネッサンス